

令和3年10月29日研究公開報告

令和3年度大隅地区研究協力校研究公開

曾於市立笠木小学校で

「**少人数・複式指導**」についての**研究公開**が開催されました。

令和3年10月29日（金）に、曾於市立笠木小学校にて、大隅地区研究協力校「少人数・複式指導」の研究公開が行われました。笠木小は、研究主題を「『主体的・対話的で深い学び』を追究する少人数・複式指導の在り方～自他の考えを深め合う数学的活動を通して～」と設定し、深い理論研究と授業実践に取り組んでこられました。当日は、2年間の研究の積み上げが感じられる教材や教具の準備、学習環境の整備がなされており、参観者にとって大変参考になることを数多く見せていただくことができ、素晴らしい公開になりました。



【閉会のあいさつ】野村 佳史 校長先生

【研究発表】

笠木小は、算数科と少人数・複式指導について2年間研究を行いました。「数学的活動」と「算数的活動」の違いや発達の段階を踏まえたガイド学習の手引き作成等、理論研究をしっかり行い、全学級で研究授業に取り組みました。その成果を研修係の川路先生が全体会で発表されました。掲示された既習事項の活用法や、自校の「ダイヤモンド・サイクル」作成、学年別に見る論理的思考の工夫（三角ロジックやペンタゴン・ロジックの導入）

等、大変充実した内容でした。校内の教材・教具、掲示物を、多くの方々が写真に撮っていらっしゃいました。

〔研究発表者〕



【授業研究】

分科会は、ワークショップ型形式で行われました。2つの仮説に基づき、3つの視点（振り返り、ガイド学習の手引き、発表話型）を中心に熱心な協議が進められました。効果的な数学的活動の設定や個に応じたきめ細やかな指導、学習環境の整備や表現の場の工夫等、大変参考になったそうです。



〔授業研究〕

【公開授業：複式第3・4学年】

単元名 3年「小数」

（教材名「図形の面積」学校図書5年下）

単元名 4年「計算の仕方を考えよう」

（教材名「円の面積」学校図書6年）

3年生が小数のたし算、4年生が小数のわり算の計算の仕方を考える授業でした。野田先生が教材・教具の準備や個への対応を丁寧に行われたので、子供たちが生き生きと学習に取り組むことができていました。特に、学び合う場面では、自他の考えを広く・深く高めていく姿が見られました。〔3・4年生の授業〕



【公開授業：第2学年】

単元名「かけ算（2）」

（教材名「かけ算（2）」

学校図書2年下）

日常生活から学習課題を見付け、学習問題を焦点化させる導入を2年生でどのように工夫すればよいか、日高先生が実践してくださいました。元気な子供たちが、実物やブロック、絵等を用いて、かけ算への自力解決に熱心に取り組む姿が印象的でした。〔2年生の授業〕

